

東京工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	異文化理解A	
科目基礎情報							
科目番号	0039			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	情報工学科			対象学年	3		
開設期	前期			週時間数	前期:2		
教科書/教材	適宜、プリントを配布						
担当教員	鈴木 慎也						
到達目標							
①日本の社会で生活するうえで、必要となる礼儀作法やマナーを身につけることで、日本の文化に対する理解を深める。 ②日本だけではなく、他の留学生の母国の文化や慣習についても理解を深めることで、他者理解の重要性に気付く。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		礼儀作法やマナーを理解し、実際に立ち振る舞うことができる。		礼儀作法やマナーを理解することができた。		礼儀作法やマナーに対する理解が不十分である。	
評価項目2		母国以外の国や地域の文化・慣習に興味を持つとともに、異文化に対し理解を深めることができた。		母国以外の国や地域の文化・慣習に興味を持つことができた。		母国以外の国や地域の文化・慣習に興味を持つことができなかった。	
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	・日本における礼儀作法やマナーを理解し、しっかりと立ち振る舞うことができるようになることによって、これから社会人となる自覚を養う。 ・異質なものを簡単に排除したり、拒絶するのではなく、理解し、尊重しようとする国際人として必要な資質を身につける。						
授業の進め方・方法	・日本社会における礼儀作法やマナーについてまとめられたプリントを参考にしながら、実際の場面を想定したロールプレイングを行い、理解を深めていく。毎回、母国の文化や慣習について日本語で文章を作成し、それを発表しあう。						
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		日本語で正しく自己紹介をすることができる。		
		2週	礼儀作法とマナー①		礼儀作法やマナーを理解するとともに実際に立ち振る舞うことができる。		
		3週	礼儀作法とマナー②		礼儀作法やマナーを理解するとともに実際に立ち振る舞うことができる。		
		4週	礼儀作法とマナー③		礼儀作法やマナーを理解するとともに実際に立ち振る舞うことができる。		
		5週	礼儀作法とマナー④		礼儀作法やマナーを理解するとともに実際に立ち振る舞うことができる。		
		6週	礼儀作法とマナー⑤		礼儀作法やマナーを理解するとともに実際に立ち振る舞うことができる。		
		7週	礼儀作法とマナー⑥		礼儀作法やマナーを理解するとともに実際に立ち振る舞うことができる。		
		8週	礼儀作法とマナー⑦		礼儀作法やマナーを理解するとともに実際に立ち振る舞うことができる。		
	2ndQ	9週	礼儀作法とマナー⑧		礼儀作法やマナーを理解するとともに実際に立ち振る舞うことができる。		
		10週	礼儀作法とマナー⑨		礼儀作法やマナーを理解するとともに実際に立ち振る舞うことができる。		
		11週	礼儀作法とマナー⑩		礼儀作法やマナーを理解するとともに実際に立ち振る舞うことができる。		
		12週	礼儀作法とマナー⑪		礼儀作法やマナーを理解するとともに実際に立ち振る舞うことができる。		
		13週	礼儀作法とマナー⑫		礼儀作法やマナーを理解するとともに実際に立ち振る舞うことができる。		
		14週	礼儀作法とマナー⑬		礼儀作法やマナーを理解するとともに実際に立ち振る舞うことができる。		
		15週	礼儀作法とマナー⑭		講義の中で扱った礼儀作法やマナーが実際に身についているか授業内で確認を行う。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	50	0	25	25	0	100
基礎的能力	0	50	0	25	25	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0